



消火栓を活用した消火放水訓練の報告

茅ヶ崎消防職員指導による消火栓を活用した消火放水訓練(消火ホース格納箱内のホースと工具を使用)を 8 月 30 日(土) 午後 3 時から実施致しました。

茅ヶ崎駅より南側の地域(東海岸北一丁目から五丁目)は、県内でも特に火災に対して最も危険な地域の 1 つです。火災には初期消火活動が最も重要ですので、消防車の来る前の活動として、今回の消火放水訓練は大変重要です。

参加者：約 37 名(役員・防災リーダーを含む)


特別見学者：北三丁目米井会長・防災リーダー5 名、南二丁目土田会長

次ページに消火ホース格納箱の取扱要領を記載しました。

スタンドパイプ式初期消火器具 取扱要領

消火栓のフタを開け方

旧型消火栓




鍵穴に消火栓カギを差し込む

フタを持ち上げたまま、手前に引いてフタを開ける

カギをさしたまま、持ち手を上げ、テコの原理でフタを持ち上げる

新設消火栓



差し込んだ消火栓カギを90度回転させる

消火栓カギを消火栓の◎の穴に差し込む

持ち手を下げテコの要領でフタを持ち上げて緩める

真上に上げた後、手前に引く

ジョイント部を中心に回転させながらフタを開ける

◆ 消火栓担当者 ◆



消火栓にスタンドパイプを結合



スタンドパイプにパイカンを結合



パイカインにホースを結合



消火栓カギを差し込む



「放水はじめ」の合図を確認後、消火栓カギを時計回りに、ゆっくり回し、水を出す



「放水やめ」の合図を確認した場合、直ちに、消火栓カギを時計と逆回りに回し水を止める

ツツサキの取扱い(水を出す)

ツツサキ先端の黒い部分を回すことにより、水を出したり止めたりすることが出来ます。

先端の黒い部分を反時計回りに回すと水が出ます。

◆手を真上に上げ、大きな声で「放水始め」と、消火栓担当者に伝える(消火栓担当者が視認できない場合は、協力者に伝えてもらう)
◆合図後は、いつ水が出ても大丈夫なように、ツツサキをしっかりと保持する

「放水やめ」の合図は手を横に水平に上げ、大きな声で消火栓担当者に伝える

◆ ツツサキ担当者 ◆

ホースを結合する



ホースとホースを強く引っ張り結合の確認

差し口を持って目標に向かいホースを引っ張る

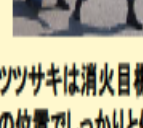


ホースにツツサキを結合

ホースとツツサキを強く引っ張り結合の確認



放水時、後ろに引かれるような反動力が加わるので前傾姿勢をとる



◆ツツサキは消火目標に向け、腰の位置でしっかりと保持する
◆ツツサキ補助員は放水担当者のすぐ後ろのホースを両手でしっかりと保持する